

【議事録】（概要）

会議名	第4回 第6次芦屋町総合振興計画審議会	会場	芦屋町役場 31会議室		
日時	令和2年8月25日（火） 19:00~20:00				
件名・議題	1) 会長のあいさつ 2) 議事 ①基本構想（案）について ②部会（案）について 3) その他				
委員の出欠	会長	山田 明	出	黒山 敏治	欠
	副会長	廣川 祐司	出	松上 宏幸	欠
	委員	占部 吉郎	出	古野 嘉子	出
		安部 知彦	出	鹿島 由美	出
		山田 寛	出	西村 由美子	出
		藤崎 英毅	出	辻本 一夫	出
		濱野 頼子	出	長島 毅	出
		片山 和夫	出	松岡 泉	出
		加藤 まゆみ	出	萩原 洋子	出
		吉崎 強志	出	大庭 朱美	出
		中山 孝泰	出	江口 浩子	出
		中西 隆雄	出	倉田 智美	出
		吉岡 学	出		
合意・決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本構想（案）について、事務局案を基に今後審議することで合意した。 ・ 次回以降は事務局案の構成で2部会に分かれ、審議を行うことで合意した。 				

■第4回 第6次芦屋町総合振興計画審議会 議事録

1 基本構想（案）について

（事務局）

議事1「基本構想（案）について」説明【資料1-1～1-6】

（委員）

第1章の施策「人づくり」について。人材育成は該当分野等の施策に織り込まれていくものと認識しているが、具体的にどのように位置付けるのか。

（事務局）

今まで人材育成に取り組んでいなかったわけではなく、これまで以上に力を入れるという意図があり、施策として位置付けている。全7章ある中で人材育成はそれぞれ取り組んでいく内容であると理解しているが、主な考え方を第1章の施策「人づくり」でおさえ、具体的な内容については各章の取り組みの中で整理していこうと考えている。

（委員）

基本構想（案）のP4～5について。人口の統計は令和2年度の速報値を入れるべきではないか。

（事務局）

数値については国勢調査の数値を持ってきており、公表されるのが令和3年度以降になるため、記載は難しい。

（委員）

意見を述べたい。基本構想（案）P18（1）人づくりについて、現行計画等では「人材育成」は「リーダーの育成」と位置付けていたが、芦屋町ではリーダーがいるとリーダー頼みになってしまう気質がある。住民一人ひとりを育てていくという視点は重要である。

（委員）

質問事項が2点。

1点目は、人材について、産業の担い手などを想定しているのであれば、補助金などの財政的支援を行うことを想定しているか。例えば、具体的に「全国大会に出場するアスリートの育成」といった目標を掲げないのであれば、漠然とした施策になってしまわないか。

2点目は、芦屋釜の振興は重要であるが、顧客や需要を開拓し、販売に力を入れていかなければ取り組む意義も薄れてしまわないか。

(事務局)

1点目について、人材育成に資する補助金として芦屋町人材育成補助金があるが、現状ほとんど使われていない。このような制度の利用改善も必要だと考えているが、具体的内容は部会で審議をしていただきたい。

2点目について、鋳物師を育成しており、実際に販売して生計を立てていくことを目標として支援している。現状、鋳物師が1人独立し、工房建設が予定されている。現時点でも芦屋釜の販売等はすでに行っており、現行の取り組みの中でも芦屋釜の振興を進めているところである。

(委員)

人づくりというものは具体的な成果を出すことは難しいものであるが、基本構想に人づくりを入れ、「芦屋町は人づくりをしていく」という認識を持って取り組んでいくことが大切である。

(委員)

すべてにおいて人材育成は重要であり、それがなければ芦屋町の発展はない。各計画においても人材育成の施策を重視できるとよい。そのための大前提として総合振興計画の基本構想に位置付けたものと認識しているが、人づくりは具体的な成果を出すことが難しいので検討が必要である。

まずは「人づくり」が町の最重要課題であることを位置づけることに意義があると考えている。

(会長)

事務局案をもとに今後も審議を進めていくということによろしいか。

(委員全員)

異議なし。

2 部会（案）について

(事務局)

部会（案）について説明。

(会長)

事務局案の部会で審議を進めていくということによろしいか。

(委員全員)

異議なし。

3 その他

【事務連絡】

次回の部会の日程について、1部会は、9月18日（金）19時から、役場3階31会議室、2部会は、9月17日（木）19時から、役場3階31会議室を予定している。議題としては「基本計画（案）」の審議を予定している。